ここが使いやすい！『ON!』のポイント

歌唱教材 ↔ **ONGAKUをはじめよう**
1. リズムに乗って
2. メロディーに乗って
3. ハーモニーに乗って
4. 詩と音楽

↔ 創作教材

鑑賞教材 ↔ **ONGAKUをふかめよう**
1. さまざまな表現
2. 豊かな声を目指して
3. 言葉と歌
4. 音楽を表現するために

↔ 器楽教材

1 「はじめよう」「ふかめよう」で音楽の基礎基本をおさえる

ON! 1の**「はじめよう」**は，「リズム，メロディー，ハーモニー，言葉」を個別に取り上げ，体系的に学ぶことができます。
例)「リズムに乗って」の流れ
リズム打ち→リズムをつくる→リズムを知る→アンサンブルする

ON! 2の**「ふかめよう」**は，「はじめよう」での学習を基礎に，「音楽表現の工夫」について編曲，発声，発音など様々な角度からアプローチします。

「はじめよう」「ふかめよう」は……
♪「音楽を形づくる要素」と「表現の工夫」を独立した教材として取り上げました
♪アクティブ・ラーニングの視点をもった活動を多数提案

2 知る⇔演奏する 効果的で深い学び

「はじめよう」「ふかめよう」や創作領域などの「知る・演習する」教材と，「演奏する・聴く」楽曲教材がリンクしているから，生徒に合ったやり方で授業を組み立て，より効果的で深い学びに結びつけることができます。

▶楽曲演奏からリズムの学習にリンクする例 →本書p.2
▶ハーモニーの学習から楽曲演奏にリンクする例 →本書p.5
▶言葉の表現の学習から楽曲演奏にリンクする例 →本書p.11

3 創作で，主体的に表現する力を伸ばす

『ON!』は，創作による表現力の伸長にも力を入れた教科書です。ルールを設け，要素を一つずつ変えていく方法で，少しずつ易しいことから主体的に活動できるよう配慮しています。もちろん「はじめよう」「ふかめよう」とリンクさせることも可能です。

▶音階を生かした創作の例→本書p.4
▶言葉を生かしたリズム・アンサンブル創作の例 →本書p.6
▶一つの旋律から大きな曲を創作する例→本書p.10

楽譜

五線に対して大きくはっきりとした符頭，歌詞が読みやすい書体，段間の余白，間延びしない五線左右の長さ，そして目に優しい紙の色。**「譜読みのしやすさ」**は，授業の効率に少しずつ，大きな影響を与えるかもしれません。

MEMO…作品の背景　POINT…演奏のポイント
TRY…発展的な課題
従来は指導書のみにあったような情報も教科書に掲載し，生徒の自発的な学習を促します。

日本の音楽

『ON! 1』は和楽器（箏，三味線，尺八，篠笛）の奏法，**平易な練習曲**を掲載し，初心者も取り組みやすいよう配慮しました。

『ON! 2』は能楽，文楽，琵琶楽を取り上げ，物語，舞台装置，謡など，**あらゆる角度から**生徒の興味を引きつけます。

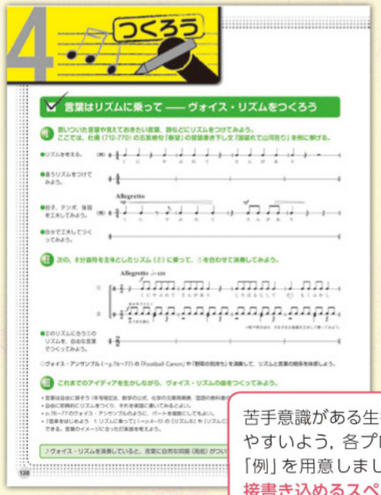
西洋音楽の鑑賞

西洋音楽史も簡潔にまとめ，鑑賞教材と上下に配置することで，**歴史の前後関係**がわかりやすくなっています（ON! 1）。

鑑賞のポイントを箇条書きと譜例によって提示。楽曲解説を読み解いていくと，楽曲全体の特質や価値が理解できるようになっています。高度に**洗練された文章**が，今後の**より専門性の高い学習へ**と高校生たちを誘います。

創作

リズム→メロディー→ベース→ハーモニーなど，**易しく小さな課題を一つずつ**クリアしていき，大きな曲づくりができるように構成されています。



苦手意識がある生徒も取り組みやすいよう，各プロセスごとに「例」を用意しました。また，**直接書き込めるスペース**も設けました。